

船員になるための知識と技術を学ぶ国立高等専門学校(商船学科)

5月28日(土)、朝中読者リポーターの田島 美咲さん(名古屋金城学院中2年)が三重県鳥羽市にある国立鳥羽商船高等専門学校(以下:鳥羽商船)を訪ね、練習船「鳥羽丸」への乗船や、実習工場でエンジンの始動作業などの体験取材を行いました。



練習船「鳥羽丸」で舵の扱い方の説明を受ける田島さん

「舵を切ってみませんか?」と、加藤くんが促すと、少し緊張した様子で舵を握る田島さん。「船は車とは異なり、舵を切ると曲がります。事前に時間がかかるの

「これはジャイロコンパスと違って、自船の位置を把握するために欠かせないものです。ジャイロコンパスで確認した内容は、海図に書き込むことになってい

「これはジャイロコンパスと違って、自船の位置を把握するために欠かせないものです。ジャイロコンパスで確認した内容は、海図に書き込むことになってい

未来の航海士や機関士を育てる商船学科

練習船「鳥羽丸」で船内の設備や操船の仕組みを学習

田島さんが最初に案内されたのは、練習船「鳥羽丸」。全長40mの大きさに驚きながら乗船すると、向かった先はブリッジと呼ばれる操舵室でした。普段、目にするのではない機器や設備を田島さんが興味深く観察して



エンジンルームの設備について説明を受ける

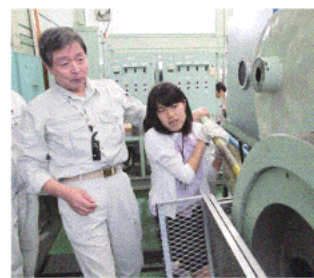
で、その感覚を身に付けるために実習を行っています」と、船を操る難しさについて説明を受けました。

次に案内されたのは、船の心臓部ともいえるエンジンコントロールルーム。制御室や機関室の設備について説明してくれたのは、商船学科機関コース5年の宮川臨くん。「エンジンを動かすために必要なのは、燃料と潤滑油、そして熱くなったエンジンを冷やす水です。燃料が通るパイプには赤、潤滑油は黄、清水は青、海水は緑と、それぞれが通るパイプに色の付いたテープが巻かれており、一目で確認できるよう

になっています」と、機関室での作業が効率よく行われるために、工夫されていることを説明してくれました。

エンジンの前に移動すると「車は電気を使ってエンジンを始動させますが、船で使われるエンジンはとても大きく、電気での始動ができないため、圧力を上げた空気を利用してエンジン始動させています」と、車と船とのエンジンの違いを教わりまし

た。エンジンの始動方法に興味を持った田島さんから「どこで空



エンジン停止後のピストン調整作業

田島さんはエンジンが動く仕組みを学んだ後、実際にエンジンの始動作業に挑戦。バルブを開き、コンプレッサーからエンジンへ空気を送り込むと、エンジンがはたはたましい音を出しながら動き始めました。エンジン停止後に行うピストン位置の調整にも挑戦し、作業の中で教わった注意点をノートに書き込んでいました。

鳥羽丸の見学を終えた田島さんが、次に案内されたのは学校の敷地内にある実習工場。ここでは、船に積まれているものと同一形のディーゼルエンジンが、実習用として設置されており、エンジンの仕組みや理論を学習することができます。

田島さんはエンジンが動く仕組みを学んだ後、実際にエンジンの始動作業に挑戦。バルブを開き、コンプレッサーからエンジンへ空気を送り込むと、エンジンがはたはたましい音を出しながら動き始めました。エンジン停止後に行うピストン位置の調整にも挑戦し、作業の中で教わった注意点をノートに書き込んでいました。

「船が好きというよりは乗り物、特にその動力となる機械が好きで、機関士に興味があったのでこの学校に入学しました。

商船学科に通うことで得られることは?

船の設備や仕組みの見学、実習工場でのエンジン始動体験を終えた田島さんは、案内してくれた2人に鳥羽商船への入学の動機や、学校生活について質問。「船が好きというよりは乗り物、特にその動力となる機械が好きで、機関士に興味があったのでこの学校に入学しました。

エンジンの仕組み以外にも、電気系統など様々な設備についても学べるので本当に良かったと思います」と、宮川くんは入学の動機を答えてくれました。

取材を終えて 読者特派員の感想



5年間(商船学科は5年半)で将来の夢に必要な知識や技術をたくさん学ぶことができる鳥羽商船 田島美咲さん(名古屋金城学院中2年)

鳥羽商船はとても歴史のある学校でした。また中学生のころからしっかりと進路を決め、夢に向かってがんばっている学生さんも多いと思います。専門学校だけあって5年間(商船学科は5年半)で将来に必要な知識や技術がたくさん学べ、体験もできるといい学校だなあと感じました。

また、船のエンジンは車のエンジンとは違いモーターでは簡単に回らないため、空気の圧力を使ってエンジンを動かすのだそうです。実際、工場ではエンジンを動かしてみることも大きな音が出て迫力がありました。

操船シミュレーター体験では思うように船を動かすのは大変でした。船の大きさによってハンドルを回す量を考えなければならぬのが難しかったです。

中学生の皆さん、君の夢を船に!

国立高等専門学校(商船学科) 5校合同進学ガイダンスを開催します。

参加無料

めざせ!船長・機関長。先生や卒業生から船の仕事や将来性、入試案内や学校生活など貴重で楽しい話を聞くことができる進学ガイダンスを好評のため今年度も全国3ヶ所で開催します。参加費無料ですので中学校の先生、保護者の方、中学生の皆さん、ぜひこの機会にご参加ください。

国立高専(商船学科)5校進学ガイダンス申し込み方法

記入事項 「2011年高専進学ガイダンス参加希望」と明記 ①希望場所(横浜・博多・神戸) ②参加人数 ③上記②全員の氏名(フリガナ)・性別・年齢若しくは学年 ④入場券送付先(氏名、〒・住所/電話番号)をご記入の上、以下宛先にメール・FAX・ハガキのいずれかにてお申し込み下さい。

送付先 メール guidance@jsanet.or.jp Fax 03-5226-9166 ハガキ 〒102-8603 東京都千代田区平河町2-6-4 海運ビル 日本船主協会「合同進学ガイダンス係」 ●申し込みされた方には順次、入場券を送付致します。

お問い合わせ先 日本船主協会 担当:中村(なかつむら)・満山(みつやま) Tel 03-3264-7178 ※お申し込みに関する情報は、進学情報、海運広報に限りのみ利用させていただきます。

横浜	日時▶2011年7月16日(土) 13:00~17:00 場所▶日本丸訓練センター(横浜市西区みなとみらい2-1-1)
博多	日時▶2011年7月18日(月) 13:00~17:00 場所▶エルガーラホール(福岡市中央区天神1-4-2)
神戸	日時▶2011年7月30日(土) 13:00~17:00 場所▶神戸国際会館(神戸市中央区御幸通8-1-6)

募集人員
それぞれ
先着
約100名

ガイダンスプログラム(予定)	13:00 ●受付開始 13:30 ●開会 主催者挨拶、オリエンテーション 13:40 ●DVD「海の上のプロフェッショナル」上映 14:00 ●総合説明 14:40 ●休憩(20分程度) 15:00 ●卒業生からのメッセージ(航海士及び機関士の2名) 15:40 ●各校ブースでの個別説明会 17:00 ●閉会
----------------	---